

地産・地消型探査技術

月・火星へは、地球低軌道と比較して、輸送コストが10倍程度となります。このため、月や火星での持続的な活動を可能とするには、必要な物資を「現地で調達する」というパラダイム転換が必要になります。現地の資源やエネルギー、不要となった資材などを利用して、必要な物資や食料を効率的に生産できるシステムの獲得を目指します。また、これらの技術は、地上においてもこれまで未利用だった低湿資源の有効利用、環境負荷の少ない物質生産、離島・へき地などでの資材の現地生産、効率的な食糧生産などのへの適用を図っていきます。



月面農場（イメージ図）



月の表土（レゴリス）
（写真は月面模擬土壌）

- ▶ 質の低い資源を有効に利用する技術
- ▶ 資源の掘削や運搬を効率的に行う技術
- ▶ リユース・リサイクル技術等

